



# 議会だより

## 板野町 ITANOTOWN

<http://www.town.itano.fokushima.jp/add/gikai/>



### 目次

- ～令和8年第1回定例会／臨時会～
- P2～P3 定例会提出議案『令和8年度予算』ほか
- P4 臨時会提出議案『一般会計補正予算』ほか
- P5～P8 定例会一般質問  
ごみ処理対策特別委員会より vol.2
- P9 全員協議会報告  
『物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業』ほか
- P10 議員レポート・議会のうごき など

板野東幼稚園  
みんなで運動会の練習  
がんばるぞ

# 例会提出議案

会期は3月2日～3月16日  
議案 27 案件  
全て**可決**されました。

## 令和8年度一般会計当初予算

# 78億7,500万円 可決

令和8年度の一般会計当初予算額は78億7,500万円。前年度比16.3%の増(11億200万円増額)となります。増額の主な要因は、吉野川下流域用水事業完了による負担金や広域斎場整備事業などの普通建設事業費の増額などが挙げられます。

※当初予算について、詳しくは「すがお4月号」に掲載しています。

議会費	7,443万円	総務費	9億5,753万円	民生費	22億4,365万円
衛生費	9億8,408万円	農林水産業費	7億7,399万円	商工費	1億6,537万円
土木費	2億6,550万円	消防費	2億6,730万円	教育費	7億5,462万円
公債費	4億4,945万円	諸支出金	9億2,894万円	予備費	1,013万円 など

## 《令和8年度重点事業》

令和8年度の重点事業と予算額を紹介します。

### 吉野川下流域用水 事業負担金

6億7,055万円

平成3年度より農業用水の水質改善・用排水施設の機能回復等を目的として事業着手しました。令和7年度に事業が完了し、受益地として負担金を支払います。

### 町民センター 空調設備整備事業

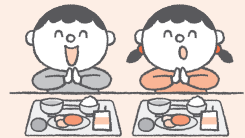
2,090万円



災害時の指定避難所である町民センターの空調設備を更新。

### 小中学校給食費 無償化事業

4,013万円



令和8年度の小中学校の給食費を無償化します。詳しくはP9をご覧ください。

継続事業

### 高齢者外出 支援助成事業

3,100万円



75歳以上の方へタクシー料金及び自動車等燃料代を助成。

継続事業

### 広域斎場整備事業

2億8,118万円

板野町・石井町・神山町の3町で進めている広域斎場の整備について、令和8年度は斎場の建設工事が開始されるとともに、周辺環境整備事業として斎場進入路の整備を引き続き実施します。

継続事業

### 公営住宅ストック 総合改善事業

4,750万円

板野町公営住宅等長寿命化計画に基づき、外壁の改修工事を実施しています。令和8年度は、長寿命化計画の改訂及び第2団地10棟の改修工事を実施します。

# 令和8年第1回板野町議会定

## 令和8年度 特別会計・事業会計当初予算額

国民健康保険会計	17億3,577万円	住宅新築資金等貸付事業会計	231万円
奨学金貸与事業会計	731万円	後期高齢者医療会計	2億4,984万円
介護保険会計(保険事業)	14億7,142万円	介護保険会計(介護サービス事業)	583万円
下水道事業会計(収益的予算)	2億1,610万円	水道事業会計(収益的予算)	2億6,792万円

## 令和7年度 補正予算

一般会計(第9号)	+10億7,252万円	介護保険会計(保険事業)(第3号)	+365万円
住宅新築資金等貸付事業会計(第2号)	+99万円	下水道事業会計(第3号)	収益的支出 +100万円

### 条例関係

●板野町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

4月より開始する「こども誰でも通園制度」について、事業所指定に係る設備運営基準等を定めるもの。

●板野町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

「こども誰でも通園制度」において、事業所を給付の対象とするための確認基準を定めるもの。

●板野町子ども・子育て支援法に基づく過料に関する条例の一部改正について

子ども・子育て支援法に基づく過料に関して、「こども誰でも通園制度」を対象とするための改正。

●板野町介護保険条例の一部改正について

保険料の減免に関して附則で定めるもの。

●板野町国民健康保険条例の一部改正について

子ども・子育て支援納付金課税が新設されること、及び基礎課税(医療分)と介護納付金課税に係る均等割額を変更するための一部改正を行うもの。

●板野町職員の給与に関する条例の一部改正について

駐車場等利用に係る通勤手当を新設するため条例の一部改正を行うもの。

●板野町職員等の旅費に関する条例の一部改正について

出張時の旅費に関する条例の一部改正を行うもの。

●板野町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について

会計年度任用職員給料表について、改正を行うもの。

●板野町役場庁舎改築等基金条例の廃止について

本基金を廃止し、財政調整基金及び公共施設等整備基金へ積替えを行うもの。

### 人事案件

●副町長の選任及び教育長の任命に同意

副町長 美原 隆寛 氏  
教育長 三原 善仁 氏

### その他

●町道路線の認定

公衆用道路として新たに5つの路線を認定。

# 令和8年第1回板野町議会臨時会提出議案

1月21日提出議案全て可決されました。

令和7年度一般会計補正予算(第8号)

## 1億2,581万円追加

### 《主な補正の内容と補正額》

- ◆生活支援商品券発行事業 ..... + 6,016万円  
国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用した、生活支援商品券発行事業における商品券発行に係る経費として。
- ◆物価高対応子育て応援手当 ..... + 3,931万円  
国の補助金を活用した子ども1人当たり2万円の手当支給に係る費用。
- ◆衆議院議員選挙費 ..... + 973万円  
2月8日に行われた衆議院議員選挙の事務費用として。
- ◆危機管理対策基金積立金 ..... + 1,000万円  
基金（下記の条例制定を参照）への積立金として。財源の一部として、県の「県土強靱化・レジリエンス推進事業費補助金」を充てる。

### 条例関係

#### ●板野町危機管理対策基金条例の制定について

災害発生時の被害を最小限に抑制する取組を進めるとともに、初動対応から復旧・復興に至るまでの多額の財政需要に対し、迅速かつ柔軟に対応できる財政基盤の確立が求められることから、平時より計画的に資金を積み立て、災害対策及び危機管理体制の強化に資する事業への充当を目的として、本基金条例を制定するもの。

#### ●板野町の特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の一部改正について

国家公務員特別職の期末手当支給率が改定されたことに伴うもの。

#### ●板野町議会議員の期末手当支給条例の一部改正について

特別職で常勤のものとの期末手当引上げに伴うもの。

臨時会・定例会の各提出議案の詳しい内容は、板野町ホームページに掲載の会議録をご覧ください。

### ごみ処理対策特別委員会より

vol. 2

3月2日、第2回目のごみ処理対策特別委員会を開き、主に特別委員会の方針について協議を行いました。

まずは担当課より現状報告があり、板野町が単独でごみ処理施設を整備した場合の建設費や運営費等を業者に依頼し、試算をしていただいているところであり、その結果を踏まえて、どのような方法をとるか、町の理事者などで構成されるごみ処理方式検討委員会で協議する予定ということです。

今回の特別委員会で、議員からは「特別委員会で議員の意見をまとめて、検討委員会に提言できるような委員会にするべき。」「検討委員会の進捗状況を議会も知っておく必要があり、相互に情報交換ができるような形で進めるべき。」といった意見が出されました。

特別委員会では今後、議員の意見や情報を広く出し合って、提案していただけるような委員会にしていきたいと思います。

質問事項：障がいのある方の避難所への  
避難方法について

「個別避難計画」に  
ついて問う！



楠本 千草 議員

問

私は、女性消防団の団員として後方支援活動を行っている。その中で、「避難所HUG」という避難所運営ゲームによる図上訓練を行い、災害が発生した際、障がいのある方等が、安全に避難できる体制づくりが重要であると感じた。

現在、板野町において、自力で避難することが難しい方を誰がどのように支援して、安全な場所へ避難させるかを事前決めておく「個別避難計画」の体制づくりを進めているが、その計画について教えていただきたい。

答

「個別避難計画」は、自ら避難することが困難で、避難するために特に支援を必

要とする方を対象に避難場所、避難場所までの手段や経路、避難の支援者や支援内容を記録したものである。

問

本町における要支援者に対する個別避難計画の作成状況について伺う。対象となる人数と作成済みの件数は。

答

令和7年4月1日時点で、個別避難計画の作成者は339名、作成率は18.1%であったが、災害対策基本法の改正前に作成したものであり、個別避難計画としては不十分であった。そこで、専門家の支援を受けて、対象者の正確な把握等を行うとともに、新しい要綱を制定した。

精査の結果、対象者は1,874名から347名となり、令和8年3月末で作成者161名、作成率46.4%となる見込みである。

問

医療などの処置を必要とする方の個別避難計画のような計画があるのか。また、今後の課題と取組は。

答

板野町では、「要配慮者情報シート」も併せて作成し、医療などが必要な方が災害発生時に適切に迅速に支援が受けられるよう、関係機関との情報共有を図ることとしている。さらに、避難予定の福祉避難所に対し、作成した要配慮者情報シートを御本人の同意の上、あらかじめ

提供することとしている。課題としては、避難を支援する支援者の確保が挙げられる。支援については、法的な責任や義務を負うものではなく、支援者自身の安全確保が前提となり、可能な範囲で地域での助け合いの中で行われるものとなっている。

国では、医療依存度の高い方が、必要な医療が受けられるよう、「災害時保健医療福祉活動支援システム」を導入し、災害支援システム等との連携を進めており、町としても、このシステムの活用が求められる。

一般質問の全文は、板野町議会ホームページに掲載しています。

質問事項：①住宅リフォーム助成について  
②ごみの減量化に向けて

# 生ごみ処理方法について周知を！



いしだ みのる  
石田 実 議員

## ■住宅リフォーム助成について

### 問

家を建てて数十年がたつと建物も老朽化が進み屋根や瓦も傷んでくる。また台所や部屋などリフォームしたいと思っている人も多いのではないかと。一定の助成金があればリフォームをやってみようかと思う。

住宅リフォーム助成は、経済効果は5倍とか10倍といわれている。地域の活性化につながる。この住宅リフォームする場合に助成金を出してはどうか。

### 答

町では、大規模震災を含めたりフォームを実施していただけるよう木造住宅耐震改修の補助金制度について

重点を置いていて。住宅リフォームの助成については、厳しい財政状況下であり、今のところ実施する予定はない。

### 再問

県内11市町村で既に一定の助成金を出している。北島町では上限額20万円、上板町は上限額20万円、40戸を計画している。是非、取り組んでいただきたい。

### 答

今後も必要性を慎重に検討していきたい。

## ■ごみの減量化に向けて

### 問

ごみの減量化に向けて取り組んでいるが、昨年4月から

今年の2月までに燃やせるごみの量がどれだけ減少したか聞きたい。

### 答

令和7年4月から令和8年2月末までの11か月間に板野町内で収集した燃やせるごみの量は約2,536t。令和6年4月から令和7年2月末までの同じ11か月間で収集した、燃やせるごみの量は約2,619t。昨年度より83t減少了。

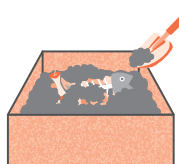
### 問

生ごみ処理にプラントターなどを使った方法があるが、調査・研究し、方法などをチラシなどで周知をしてはどうか。

れをいかに減らすか、減らすことができれば大きな経費削減にもなる。

### 答

生ごみ処理機には電気式と、土やEM菌を入れた生ごみを処理するコンポスト方式などがある。土が入ったプランターなどを使用し、プランターや軒下に設置して生ごみ堆肥などを作る方法もある。家庭でも簡単にできる生ごみの減量化の方法として広報していきたい。



一般質問の全文は、板野町議会ホームページに掲載しています。

質問事項：①母子家庭の支援について  
②子育て支援の広報と今後について

# 子育て支援の広報で 選ばれる町に！



ふじた ちほ 議員  
藤田 千穂 議員

## ■母子家庭の支援につ

いて

### 問

ひとり親家庭、特に母子家庭で

は、経済的・精神的な負担が大きいといわれている。中学・高校・大学と進むにつれて支出が増える一方で、収入を増やすために一生懸命仕事を増やし頑張ると、公的支援の対象から外れてしまう「非課税の壁」の問題にぶつかり、やるせない想いを抱える声も聞く。子どもの進路を考えた時に、国の支援だけでは十分とはいえない状況。例えば、受験前の学習支援の補助をはじめ、複数の課をまたいで小さな支援からでも検討をいただくことは可能か。子どもたちが家庭の経済状況によ

て、進学や将来の夢を諦めることがないように検討をお願いしたい。

### 答

子ども家庭総合支援センターを

相談窓口として設置し「伴走型支援」を行っている。「こども基本法」にのっとり、子どもが置かれている状況によってその選択肢を狭めないよう、最大限の努力をすることが町には求められていると考える。今後は、関係部署とも連携し、前向きに検討していきたい。

## ■子育て支援の広報と

今後について

### 問

保育料や給食費の無償化、医療費助成など、様々な子育て支援が充実している板野町。しかし、昨

今、近隣自治体でも同様に無償化や補助枠の拡大が進み、県下でも支援が横並びとなってきた。ゆえに、子育てしやすい板野町の魅力が伝わりにくい状況にある。さらに、子育て支援の充実が一目でわかるパンフレットを作成している自治体もある。また、板野町定住の課題になっていた「学区制」の廃止が決定し、定住先の候補にあがるチャンスがすぐそこに迫っている。少子化が加速する中、5年、10年先の人口増減に関わる重要な岐路にある。今後、どのように子育て支援の町をアピールし、持続可能な町へとつなげていくのか聞きたい。

### 答

「子育てガイドブック」を作成

し、希望に合わせて配布するとともに、ホームページでも情報を発信している。今後は、板野町の子育て施策をより分かりやすく伝えられるよう工夫し、パンフレットの改善にも努めたい。



一般質問の全文は、板野町議会ホームページに掲載しています。

質問事項：自転車の青切符導入に伴う  
本町の交通安全対策について

町民の日常生活に  
支障がないように！



みはら だいすけ  
三原 大輔 議員

**問**

令和8年4月1日より、16歳以上の

自転車運転者を対象とした「青切符制度」が全国で斉に施行される。高齢化に伴い、買物や通院などに自転車を利用する高齢者も少なくない。制度の趣旨を丁寧に伝え、理解を求めていくことが不可欠。現在、制度の周知は行われているか。

**答**

現在、町として周知は行っていないが、今後、国や警察と連携を取りながら広報紙・ホームページ・SNS等への掲載、AIテレビの放送等で周知してまいりたい。

**問**

できるだけ早く周知をお願いしたい。子育て世帯や、高齢者世帯など情報が届きにくい層への配慮として、どのような工夫を行う予定か。

て、どのような工夫を行う予定か。

**答**

国や警察などから啓発のパンフレット等が届いたら、乳幼児検診時また保育園や幼稚園・小中学校の保護者へ配布、高齢者世帯には、敬老会など高齢者が集まる機会に配布するとともに、公共施設や商業施設にポスターを掲示するなど、周知方法について検討してまいりたい。

**再問**

この機に周知のために町の公式LINEの導入を検討してみてもどうか。

**答**

前向きに検討したい。小中学校では、どのような自転車交通安全教育が実施されているか。

**答**

小学校3年生以上で、交通安全教室を受講し、全学年で交通読本を使って学習、高学年で交通反則通告制度について指導、長期休暇の前には、必ず全校児童に向けて、交通安全の指導をしている。中学校では、危険な行為が人を傷つけ、多額の賠償責任を負う可能性があることも事例を挙げながら学習することとしている。

**問**

生活道路、特に高路線や、通学路について、自転車通行の実態を把握・認識しているか。

**答**

町としては把握しておらず、必要に応じて管轄の機関に確認している。周知のためには、まずは我々が把握することが最重要である。

握ることが最重要である。

県道12号線鳴門池田線の通学路区間や高齢者の利用の多い区間について、路面補修(わだち掘れの解消を緊急に要望すべき)では。

必要と思われる箇所は、県に修繕要望をしている。

**答**

必要と思われる箇所は、県に修繕要望をしている。

**問**

ナビマーク・ナビライン設置自転車が行き止まり部分及び進行すべき方向を道路面に明示を働き掛ける考えはあるか。

**答**

必要と考えられる箇所は、県に對し設置要望をしたい。

一般質問の全文は、板野町議会ホームページに掲載しています。

# 全員協議会報告

3月2日に開催された全員協議会での協議内容について報告いたします。

## 物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金の 活用事業について

1万円の商品券配布及び2  
か月分の水道・下水道使用  
料を免除

国からの物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、町民1人当たり1万円の商品券を配布します。令和8年3月1日現在で板野町の住民基本台帳に登録があり、かつ3月18日時点で引き続き住民登録のある方が対象となります。(4月22日から配送を開始し、対面での配送となるため、完了するまで2か月程度かかります。)有効期限は、届いた日から令和8年9月30日までです。商

品券が利用できる店舗の一覧を商品券に同封します。



▲商品券(見本)

また、昨年と同じく2か月分(4月・5月請求分)の水道・下水道使用料を免除させていただきます。

## 学校給食の補助について

令和8年度小中学校給食費を無償化

令和7年度は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、給食

費を無償としていましたが、

令和8年度についても、国からの小学校の学校給食に対する給食費負担軽減交付金を充当し、小学校の給食費を無償化、併せて中学校の給食費も無償化します。また、令和8年度は支援の対象を拡大し、町内に住所を有し、町外へ就園・就学している場合も対象となります。(幼稚園は町外の公立・私立幼稚園の就園児、小学校は町外の国立・私立小学校への就学児童、中学校は、町外の国立・公立・私立中学校への就学者が対象)補助額は幼稚園・小学校は250円、中学校は270円です。

### ●議員より主な質問等

町外の就園・就学者の補助金はどのように支払うのですか。

現在、想定しているのは年度末に申請書兼実績報告書を作成していただき給食費の

食数証明書を添付して申請していただく形です。要綱ができれば保護者の方に通知します。

●板野町の給食はおいしくて、評価が高く、更に補助が広がるということで、積極的にPRをお願いします。



## 森の遊園地の遊具の更新について

歴史文化公園内の「森の遊園地」の遊具を更新

開園から25年となる「森の遊園地」について、北側の汽車滑り台とヒコウキの遊具を撤去し、未就学児から小学

校低学年を対象とした幼児向けの複合遊具を新たに設置します。また、南側にあるブランコと二連シーソーを撤去し、新たにスイング遊具・一連シーソーを設置します。

### ●議員より主な質問等

森の遊園地は、遊具の整備もすっかり行われていて、町内外の子育て世代からの評判が高いです。ヒコウキの遊具は子どもに人気があり、似たような遊具はありますか。ヒコウキの遊具は現在製造されていません。ヒコウキの遊具は階段や滑り台がついており、それを反映できるように複合遊具を設置します。



# 議員レポート 議員派遣について

毎年、敬老会や二十歳のつどい・戦没者追悼式・出初め式など、町内の様々な行事に議員各員が公務として出席しています。どの式典も列席者のみなさまの様子を間近に拝見し、身が引き締まる思いです。

中でも入学式や卒業式では、板野町で暮らす子どもたちの輝かしい姿を間近に感じることが出来ます。児童生徒数の変化から、町の人口動向や少し先の未来を実感することもあります。阿讃山脈や板野の平野、吉野川など板野町の豊かな風土が歌われる校歌を、みなさんと一緒に歌うたびに心が温まり、恵み豊かな地域の魅力をつないでいきたいという思いが込み上げてきます。今後も議員派遣を通じて町内外の動向を学び、議員活動に生かしてまいります。

派遣日	目的	派遣場所
4月9日	各小学校入学式	各小学校
4月9日	中学校入学式	中学校
5月16日	戦没者追悼式	町民センター
5月23日	東小学校運動会	東小学校
5月23日	西小学校運動会	西小学校
5月23日	南小学校運動会	南小学校
8月6日	徳島県町村議会議員研修会	徳島市
9月吉日	敬老会	文化の館
11月吉日	板野郡町議会議員研修会	板野郡内
秋頃	板野町社会福祉大会	文化の館
1月10日	板野町二十歳のつどい	文化の館
1月10日	消防団出初め式	文化の館
3月吉日	中学校卒業式	中学校
3月吉日	各小学校卒業式	各小学校



戦没者追悼式



東小学校入学式



二十歳のつどい

## 議会のつどき・出席行事等

### 1月

- 11日 板野町二十歳のつどい
- 16日 板野町消防団出初式
- 21日 議会運営委員会
- 29日 鳴門市議会正・副議長来訪（就任挨拶）
- 29日 議員全員協議会
- 29日 令和8年第1回板野町議会臨時会
- 29日 ごみ処理対策特別委員会
- 29日 千葉県茂原市議会議員来訪（行政視察）
- 29日 文化財防火訓練
- 29日 障がい者ふれあい大会
- 29日 ごみ処理方式等検討委員会

### 2月

- 9日 第40回徳島県市町村トップセミナー
- 17日 議会広報特別委員会
- 18日 板野郡町議会議長会定例会
- 24日 学校給食センター運営委員会
- 26日 議会運営委員会
- 26日 令和8年第1回中央広域環境施設組合議会定例会
- 26日 徳島県町村議会議長会第82回定期総会

### 3月

- 2日 3月議会定例会1日目（開会・町長の施政方針並びに提案理由の説明等）
- 2日 議員全員協議会
- 3日 ごみ処理対策特別委員会
- 3日 厚生常任委員協議会
- 3日 産業建設常任委員協議会
- 3日 総務文教常任委員協議会
- 4日 中学校卒業式
- 5日 議会定例会2日目（一般質問・議案審議）
- 6日 3月議会定例会3日目（議案審議・閉会）
- 10日 議会広報特別委員会
- 16日 小学校卒業式
- 17日 西部消防組合議会
- 19日 松茂町ほか二町ポータルコース事業組合議会定例会
- 23日 議会定例会

昨年、議会広報特別委員会の委員に仲間入りをしました。

「議会だより」は、議員の立場から町政の透明性を高めるため住民への情報発信をしています。「町広報紙・すがお」とともに、行政と住民を結ぶ貴重な冊子としてご活用ください。いま大きな課題は、ごみ問題です。

板野町は、古くから交通の要衝として栄え、豊かな歴史を刻んできました。この美しい郷土を守るため、ごみ分別による資源の有効活用と持続可能な環境づくりを進めたいと思っています。よろしくをお願いします。

議会広報特別委員 石田 実

### 議会だより意見募集

議会だよりを、より充実した内容にするため、町民の皆様のご意見を募集します。議会だよりについてご意見いただける方は、下記の連絡先（電話・メール・FAX）まで、お願いいたします。

### 傍聴のご案内

定例会は、3月・6月・9月・12月に開催します。議場でどのような発言をしているのか、お越しいただき、お確かめください。お問合せは議会事務局まで。

電話 088(672) 5991